

当施設の代表的資料で迎え、盛岡築城に至る北東北歴史絵巻を抜け、盛岡の玄関・舟橋から城下町へと旅人（＝来館者）をいざないます。

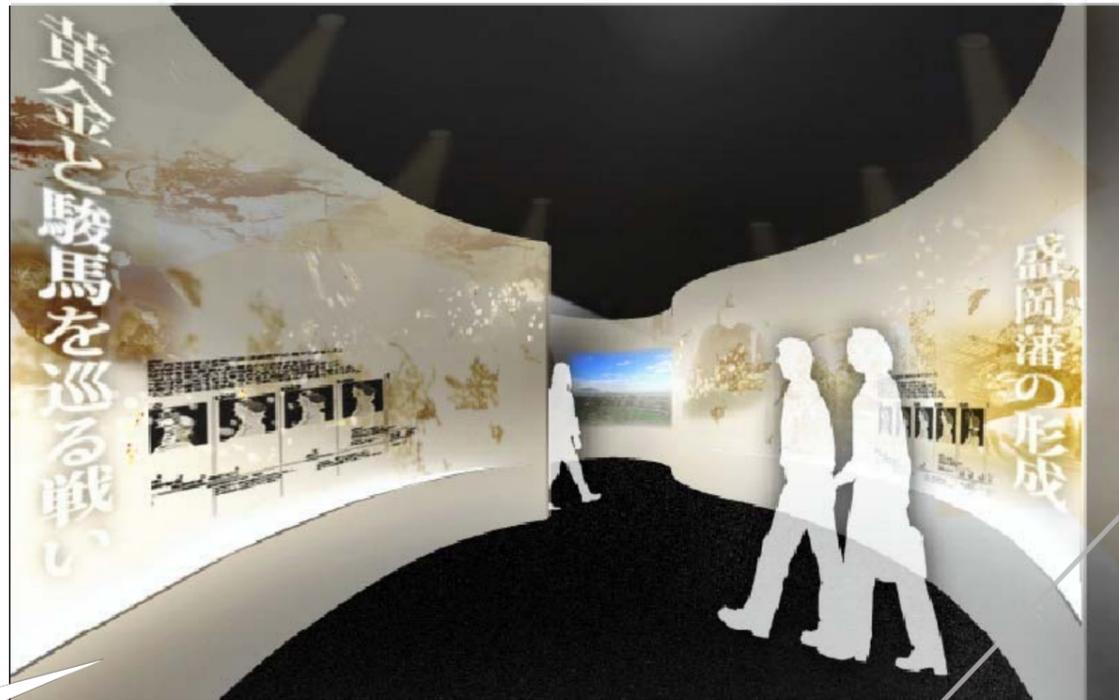
導入ケース展示

南部家資料を代表する收藏品により、当館の展示コンセプトを伝えます。



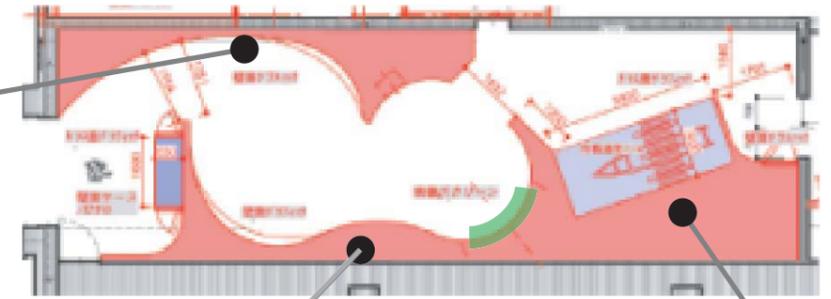
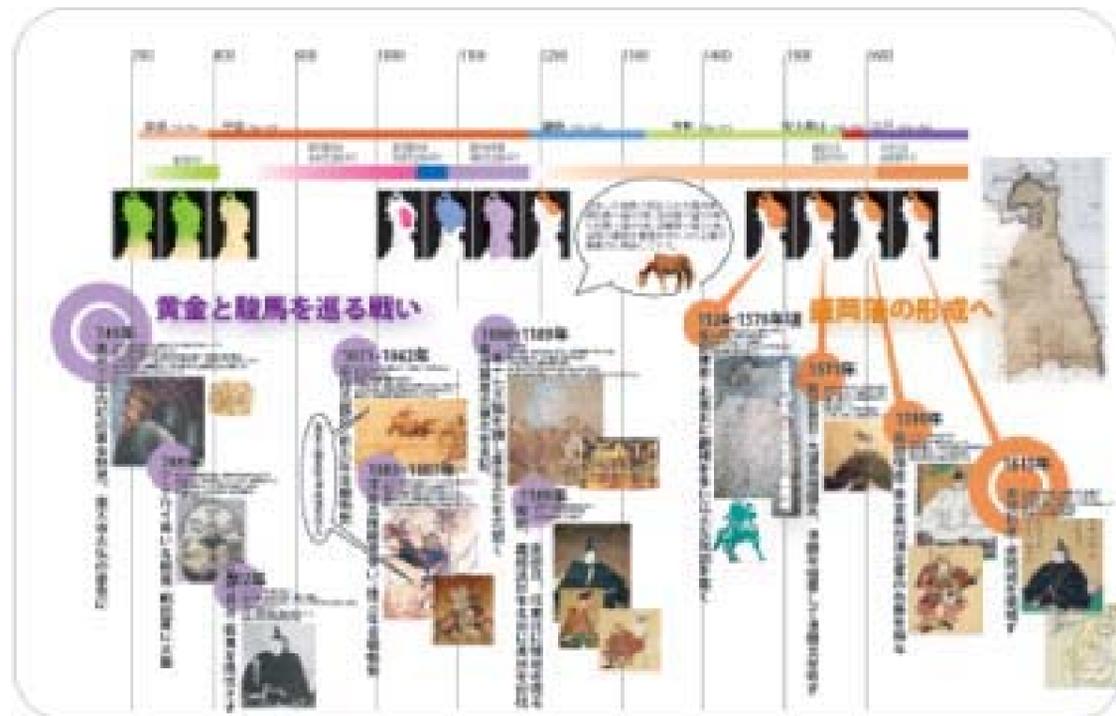
盛岡築城に至る北東北歴史絵巻

来館者を「時の旅人」に見立て、時間と空間を移動し、藩政時代の城下町盛岡へいざなう「タイムトンネル空間」と位置づけます。ビジュアル絵巻を中心に、音響、照明、演出を加え、まずは、展示室に入ってみたくなる、期待感を盛り上げ、次のコーナーにスムーズに誘導する演出空間とします。



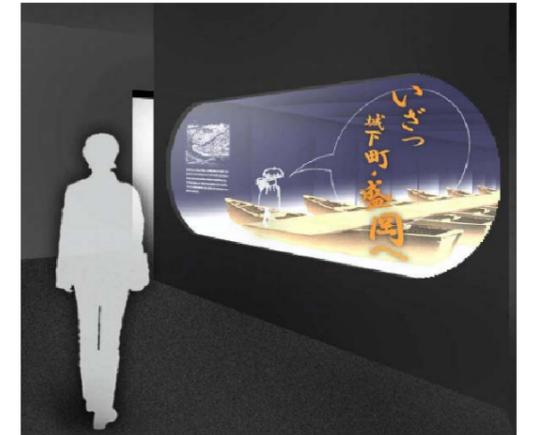
城下町前史を大きく2つに分けてコーナー化し、各時代のエピソードに焦点を当ててわかりやすく解説、城下町形成までの概要を紹介します。

森深く鳴く鳥の声
川・滝の流れる音、
川の中を馬が走り抜ける音
弓を引く音
馬のいななき
走り去る馬
合戦の真っ只中、武者の怒号
鶴の鳴き声
降り始める雨
落雷
鳥の声
馬の1頭のどかな足音
船をこぐ音
大八車が通り抜ける音
町のざわめきが近づいてくる
音響要素イメージ



盛岡の玄関舟橋

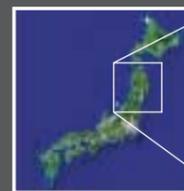
実際の城下町においても、奥州街道に沿って北上川を渡り城下へと入る入口となっていた舟橋の演出により、城下町・盛岡コーナーへと来館者を誘います。



川の集まる所に城が出来た

映像により、日本の中での位置、そして三つの川が集まる要衝に立地した盛岡の拠点性を伝え、今も変わらぬ姿を見せる岩手山に象徴される豊かな風土が現代まで続く盛岡の基底にあることを印象づけます。

- ・映像時間 1分半程度
- ・BGMとテロップで構成(ナレーションなし)
- ・絵図グラフィックの一部を映像表現



日本地図から北東北へクロースアップ



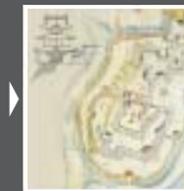
盛岡藩20万石



3方を山に囲まれ3つの川が集まる水運の地・盛岡



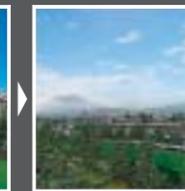
この地に新城を築いて城下町・盛岡が誕生した。



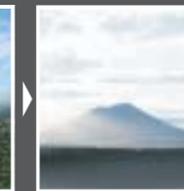
町の中心には盛岡城



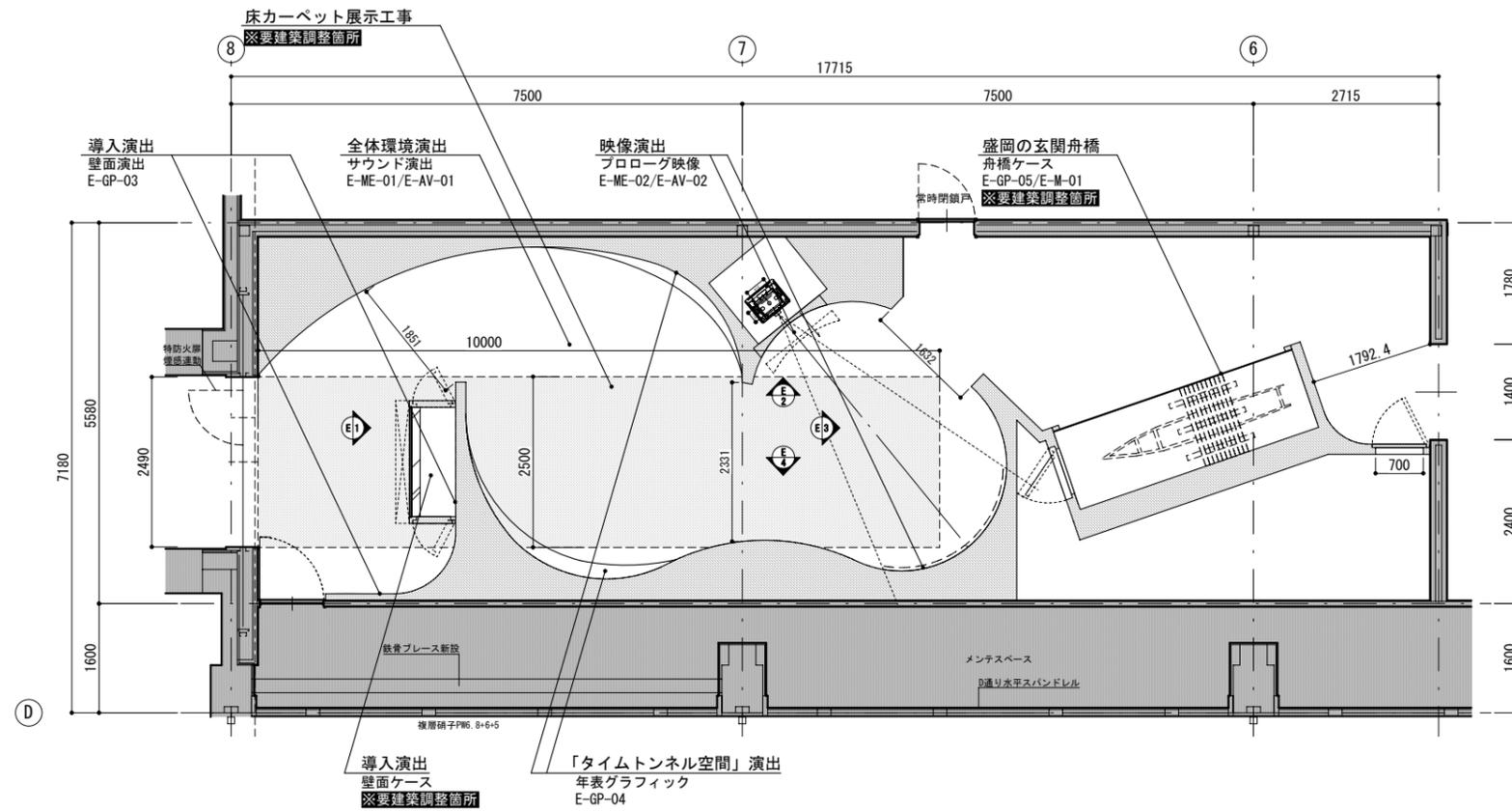
優美な石垣を誇った盛岡城



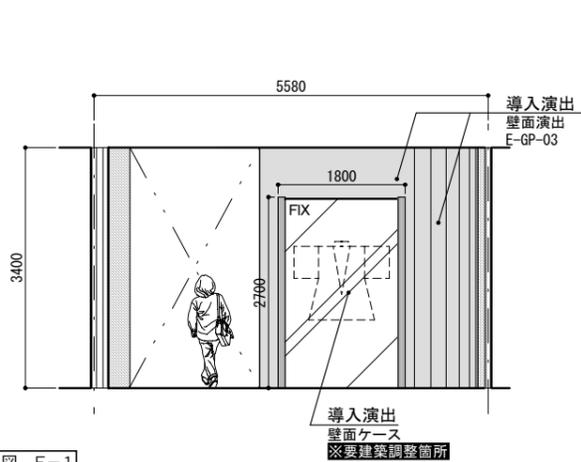
盛岡城の背景には今と変わらぬ霊峰が佇む



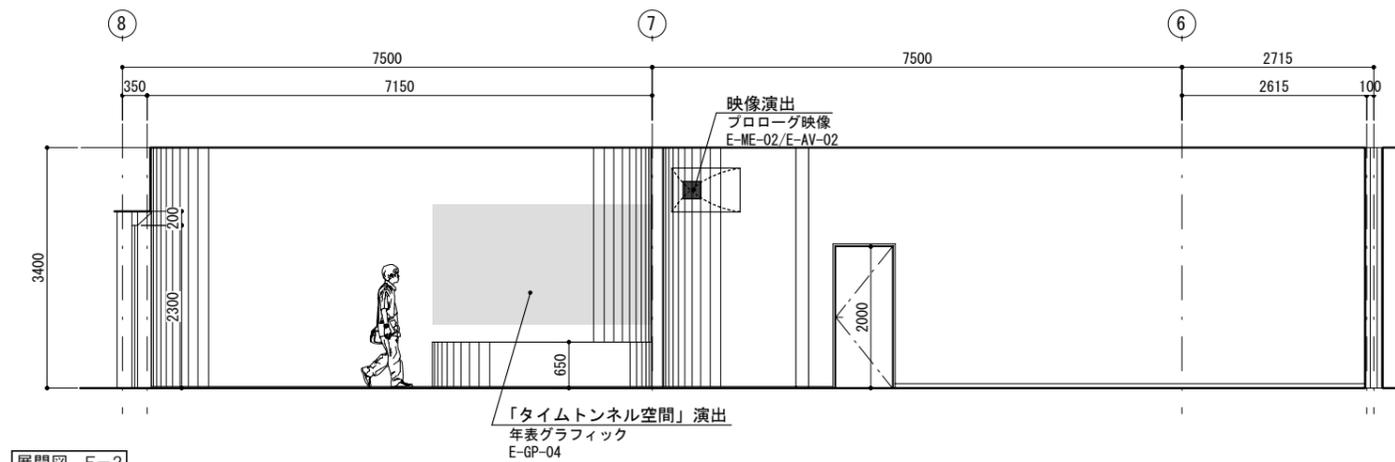
美しき岩手山



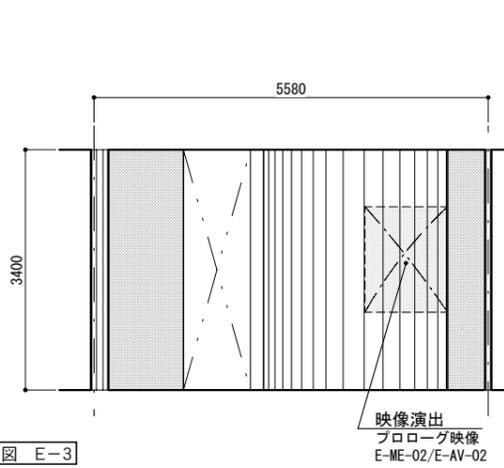
平面図



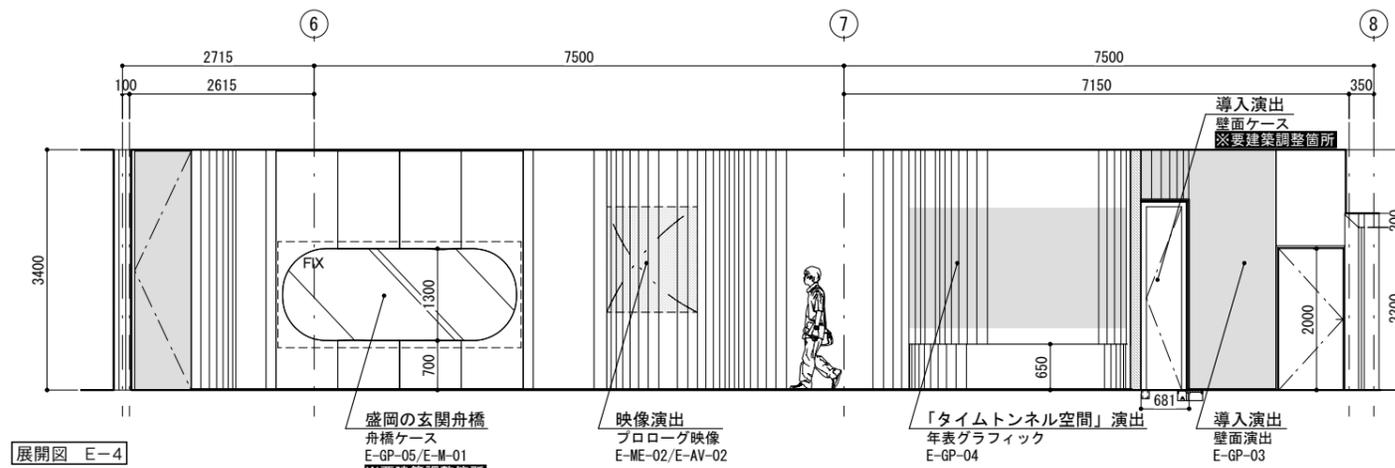
展開図 E-1



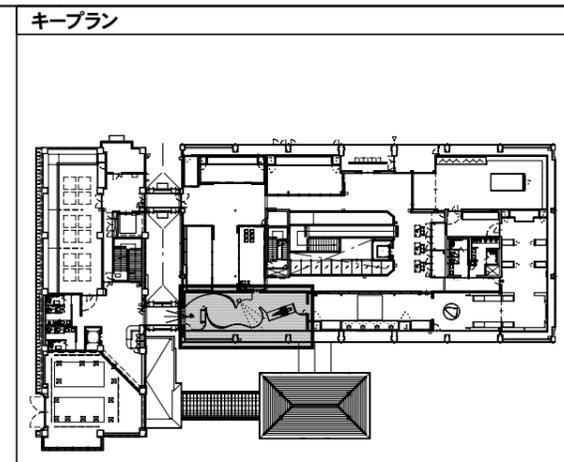
展開図 E-2



展開図 E-3



展開図 E-4



備考